



No.4

群馬県邑楽郡千代田町

I. 基本情報

- 運営主体： 千代田町教育委員会
千代田町立千代田中学校（吹奏楽部）
- 事業目標：
 - ・学校と地域人材（指導者）、教育委員会が連携・協力した地域部活動のあり方を検討する。
 - ・実施校の部活動において、月2回以上休日に地域指導者のみの活動を実施し、部活動を行う教員（顧問）の業務の軽減及び専門的な指導による生徒の技術の向上及び部活動の充実を図る。

主な活動種別

吹奏楽

運営形態（ア）

地域移行

< 地域団体・人材活用型 >

活動場所

千代田中学校音楽室

鍵、校舎管理の工夫・現状 (活動場所が学校の場合)

顧問・副顧問による当番制

参加生徒の基本情報

人数： 千代田中学校 28人
活動日：週2～3回
2～3時間程度

指導者の基本情報

・属性、人数、謝金
地域の吹奏楽経験者
1名1,600円/時間

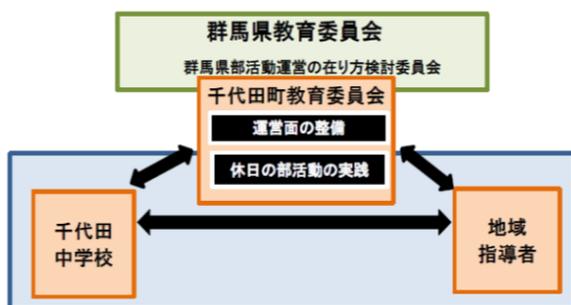
指導者の募集方法

R2、R3の部活動指導員を指導者として派遣（音楽家）

活動財源

会費等の徴収 無し
文化庁事業委託費 68万円

団体・組織等の連携



- 千代田町教育委員会：学校及び指導者と連携し、本事業を中心的に推進
- 千代田中学校：実施校として指導者を活用した平日、休日の部活動の運営

II. 活動概要

- ・令和2年度より部活動指導員として指導している方に指導を依頼。
- ・指導者派遣期間 4月下旬～2月
- ・平日、休日を含め、週に2～3回（1回につき2～3時間程度）月に2回程度の休日の指導を実施。
- ・コンクール参加に向けたスケジュールを考慮して、4月下旬より指導者の派遣を開始。
- ・コンクール直前には指導者の派遣回数を増やすなど、活動状況に応じて柔軟に対応。

III. 成果・課題

本事業による成果

- 【生徒】**
- ・同一の指導者による継続した指導が実施できたことで、指導方針の一貫性を保つことや安定した練習環境を整えることができた。また、指導者による積極的なコミュニケーションにより、良好な人間関係が築けているため、保護者からの理解も得られやすく、部活動指導員から本事業へスムーズに移行することができた。
- 【学校】**
- ・技術指導だけでなく、生徒指導的（精神的）な面での指導も行っていただき、生徒の人的な成長につなげることができた。また、顧問と合奏指導や個別指導の在り方等について情報交換することで、職員の職能成長につながった。
- 【指導者】**
- ・子どもたちに対して、専門的な指導を継続して行うことで、1人1人の生徒の成長を実感することができ、指導者としての達成感ややりがいを感じることができた。

指導、運営上の工夫

- ・生徒の活動については「千代田中学校部活動方針」に沿った活動とした。
- ・指導者が部活動指導員から継続して指導しているため生徒、保護者、顧問、指導者ともにコミュニケーションが取れており、円滑に事業を進めることができた。
- ・休日に地域指導者による指導を行う場合は、吹奏楽部の顧問が交代で学校の施設を管理することとした。
- ・一町一校の学校のため、町からの協力体制が整っており、コンクール前の練習場所や楽器運搬などで町の施設や公用車を使用することができた。町の施設であるコスメ・ニスト千代田町プラザ内のホール利用料は無料となった。

見えてきた課題 今後に向けた方針・方向性

- ・地域人材である指導者の確保及び選定が大きな課題となる。指導に必要となる専門的な知識や技能を有していることはもちろん、学校、生徒や保護者と人間関係づくりを行いながら指導できる資質をもった指導者を見極め、選定することが必要である。
- ・また、「地域」の範囲を千代田町内に限定して捉えるか、千代田町広域と捉えるかによっても指導者の選定は変わってくる。人が人を教える活動は、指導者の資質や能力に頼るところが大きいため、指導者の選定については慎重に行う。
- ・地域全体で子どもを育てるために、1つの団体で部活動を担うのではなく、他の団体等とも連絡・調整し、複数の団体で担う必要がある。教育委員会が中心となり、町、学校、団体間の円滑な連絡・調整ができるような体制を構築することが課題である。